

第2回常任理事会報告

日 時 令和6年1月23日(火)午後2時~同2時30分
オンライン (Zoom) 開催

出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 小林隆太郎、川口陽子
<総務理事> 天野敦雄
<常任理事> 末瀬一彦、松尾 健、宇尾基弘、小峰 太、
宇田川信之、林 美加子、新谷誠康、水口俊介、
秋山仁志、細川隆司

欠席者 <常任理事> 桐田忠昭、沼部幸博

※【来館出席】住友会長、小林副会長、川口副会長、天野総務理事、
末瀬常任理事、宇尾常任理事、小峰常任理事

[議長 天野総務理事]

1. 開 会

小林副会長から、開会の辞が述べられた。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

天野総務理事から、一般会務報告(令和5年12月15日~令和6年1月16日)および令和5年12月20日(水)開催の第1回常任理事会報告について、資料に基づき報告。

(2) 専門・認定分科会への情報提供

天野総務理事から、令和5年12月15日以降、2件の情報提供について、資料に基づき報告。

4. 協 議

1) 専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱いについて

(認定分科会登録申請学会)

川口副会長から、認定分科会へ登録申請があった 3 学会（日本ヘルスケア歯科学会、日本全身咬合学会、日本顕微鏡歯科学会）に関する専門・認定分科会資格審査委員会の審査結果について説明があり、協議。

末瀬常任理事から、審査の基準が曖昧で、統一性が取れていない印象を受ける。また、資格更新の審査も厳格に行うべきである旨、発言。

川口副会長から、専門および認定分科会の資格更新については、かねてより 5 年ごとに行ってきたおり、令和 4 年度からは明文化した内規（令和 4 年 4 月 1 日施行）のもと、登録時と同じ条件で審査を行っている。また、申請書に添えて提出する“雑誌（機関誌）掲載論文”の審査上の取扱いについて見直しを行い、令和 5 年度からの審査に適用している旨、答弁。

川口副会長の説明内容を了承した上で、本会議終了後に開催する第 2 回理事会において投票にて登録の可否を決定することを確認。

2) その他

末瀬常任理事から、過日の医療技術評価分科会および中医協で議論された、令和 6 年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価について、所感をお聞かせいただきたい旨、発言。

小林副会長から、日本歯科医学会分科会から本学会へ 104 項目の医療技術評価提案書が提出され、歯科医療協議会により内容のブラッシュアップを行い、厚生労働省へ提出した結果、27 項目が“診療報酬改定において対応する優先度が高い技術”として評価された。決して満足できる結果ではないが、財源等の制約がある中で一定の評価はしている。今後、日歯と厚労省が告示、通知に反映させる作業を行う中で、学会としては臨床現場に混乱を来さぬよう、側面から支援していく考えである旨、答弁。

末瀬常任理事から、医療技術の評価は結果を受けての検証が肝要であり、学会として精査・対応していただきたい旨、要望。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞が述べられた。